

**東京都NIE高校部会
11月発表資料
「歴史総合の授業での新聞活用」**

**東京都立つばさ総合高等学校
地歴公民科 玉腰 隆幸**

〔つばさ総合高校の概要〕

- ① 2002年開校 都立高校2番目の**総合学科**
- ② **5つの系列**と120科目の**選択科目**から自身の進路希望に合わせ学習を選択するカリキュラム
- ③ 主体性・批判的思考力・創造力・表現力・コミュニケーション力・傾聴力からなる「**つばさスキル**」を様々な教育活動での伸長を図る

〔系列とは〕



「美術・デザイン」「科学・技術」「国際・コミュニケーション」「スポーツ・健康」「生活・福祉」系列がある。
※旋盤などがある機械加工実習室

〔系列とは〕

1：介護実習室
nring Practice Room

303

1：介護準備室
ing Prep Room

04



系列の中から一つを柱として選び、2年次から本格的に科目を選択して、時間割を作り、学習する
※介護を学ぶ実習室は別棟がある

〔つばさスキルとは〕

	1年次終了時	2年次終了時	3年次終了時
主体性	自分の考え方や意見を持つ	自分の考え方を行動に移す	自分の役割を理解し、他者と協力してその役割を果たす
	自分と向き合い、自己の課題を明確にし課題解決に努める。	他者と課題を共有し、協力して課題解決ために計画的に取り組む	社会を取り巻く課題に注目をし、多様な人々と協力して最善で効果的な方法を実行する
批判的思考力	自ら情報を収集する	情報をうのみにせず、その正当性を客観的に精査する	精査した情報を論理的に組み立て、課題を解決に役立てる
	自己の置かれた状況を把握し、適切な行動を取ろうとする	自分の行動を常に客観的にみる	自己と他者との関係を把握し、自己的役割を遂行する。
	自己の置かれた状況を順序立てて整理する	確実な根拠に基づいて情報を順序立てて整理し、理解する	複雑化した事象を確実な根拠に基づき順序立てて整理し、判断する
創造力	既知の事柄を活かし、物事を考える	既知の事柄にとらわれずに、物事を多面的に捉え考える	自ら探究することにより、新たな価値観に結びつける
	身近な環境について理解する	社会状況や経済情勢の変化に关心を持つ	未来の社会の変化を予測し、状況に最適と考えられる発想をする

〔つばさスキルとは〕

	1年次終了時	2年次終了時	3年次終了時
コミュニケーション スキル	自己の意見を的確に他者に理解してもらえるように伝える	相手の立場や個性を理解し、自己の意見を的確に理解してもらえるように伝える	自己と他者が相互に有益な関係をもつことを意識して意見を伝える
	集団の一員として適切な行動をとる	一般常識やマナー、ルールを理解し、適切な行動をとる	一般常識やマナー、ルールを正しく理解し、場面や状況に応じた適切な行動をとる
傾聴力	他者の言葉に耳を傾ける	他者が話しやすい環境を作り、他者の言葉からその意図を理解する	自分の考えを述べながら、他者が話しやすい環境を作り、意見を引き出す
	意見や立場の違いを理解する	自分のルールや考えに固執することなく、他者の意見や立場を尊重し理解する	年齢、環境、国籍などが異なる多様な人々の考え方や価値観を尊重し、意見を受け止めて自分なりの考えをもつ
表現力	自分の意見を整理し、他者に的確に伝える	他者に伝える情報を取捨選択し、説明する順序が適切かを考えたうえで資料を作成し、的確に伝える	情報を伝える対象・状況等にも配慮し、準備した効果的な資料とともに、情報を受け取る側に的確に伝わる表現をすることができる

〔実践の対象生徒〕

「歴史総合A(2単位)」受講者

2年次生11名(男子10 女子1)

歴史総合B(4単位 世界史寄り)

歴史総合C(4単位 日本史寄り)の設置あり

→次年度、世界史探究・日本史探究を受験科目として履修する予定のない生徒。

〔実践内容〕

- ①新聞記事5分間発表(年間通して実施)
- ②一緒に読もう新聞コンクール
(夏季休業中課題)
- ③現代の諸課題への投書
(単元終了ごとに実施 朝日・東京・読売に投稿)

届いた新聞は昇降口前に掲示しました



|毎日新聞|



|産経新聞|



|朝日新聞|



|東京新聞|



|読売新聞|



|日経新聞|

NIE
新聞一面比較

9・10月の
朝刊を
毎日掲示します

一番気になった
紙面にシールを
貼って下さい！



[新聞記事5分間発表]
新聞の気になる記事を5分間で紹介
気になったところ→記事の内容→問題提起→自己の主張で構成
(戦争・紛争 コメ トランプ関税 石破政権など)

【記事の内容】

街路樹が強風、木の老朽化、根腐れなどによって倒れそれにより人身事故や物損事故が三年間で1700件も起きている。

生徒パワポ



生徒パワポ

【問題点】

- ・樹木の定期点検や巡回を実施している自治体は**4割程度**。
- ・街路樹は年間約5000本倒れてる

生徒パワポ

【4割の理由】

- ・人手や予算が限られ手が回っていない
- ・樹木の状態を見極めるのは難しく専門性の高い人材が必要だが担当職員が一定期間で移動することがある。

生徒パワポ

【対応例】

- ・名古屋市 年一回以上の点検業務
- ・広島県三原市 倒れそうな木の画像や位置情報をスマホで送るシステム導入
- ・ニューヨーク 樹木ごとにQRコードを付与し管理



New York City Street Tree Map

Explore and Care For NYC's Urban Forest

Map | My Trees | Learn | Groups

生徒パワポ

Text Size T Language A

f Share

Tweet

Report Problem

NYC's Street Trees

The New York City Street Tree Map brings New York City's urban forest to your fingertips.

For the first time, you have access to information about every street tree in New York City. Learn about the trees that make up our city's urban forest, mark trees as favorites and share them with your friends, and record and share all of your caretaking and tree stewardship activities.

ABOUT THE STREET TREE MAP

Citywide Statistics

689,227
Trees on Map

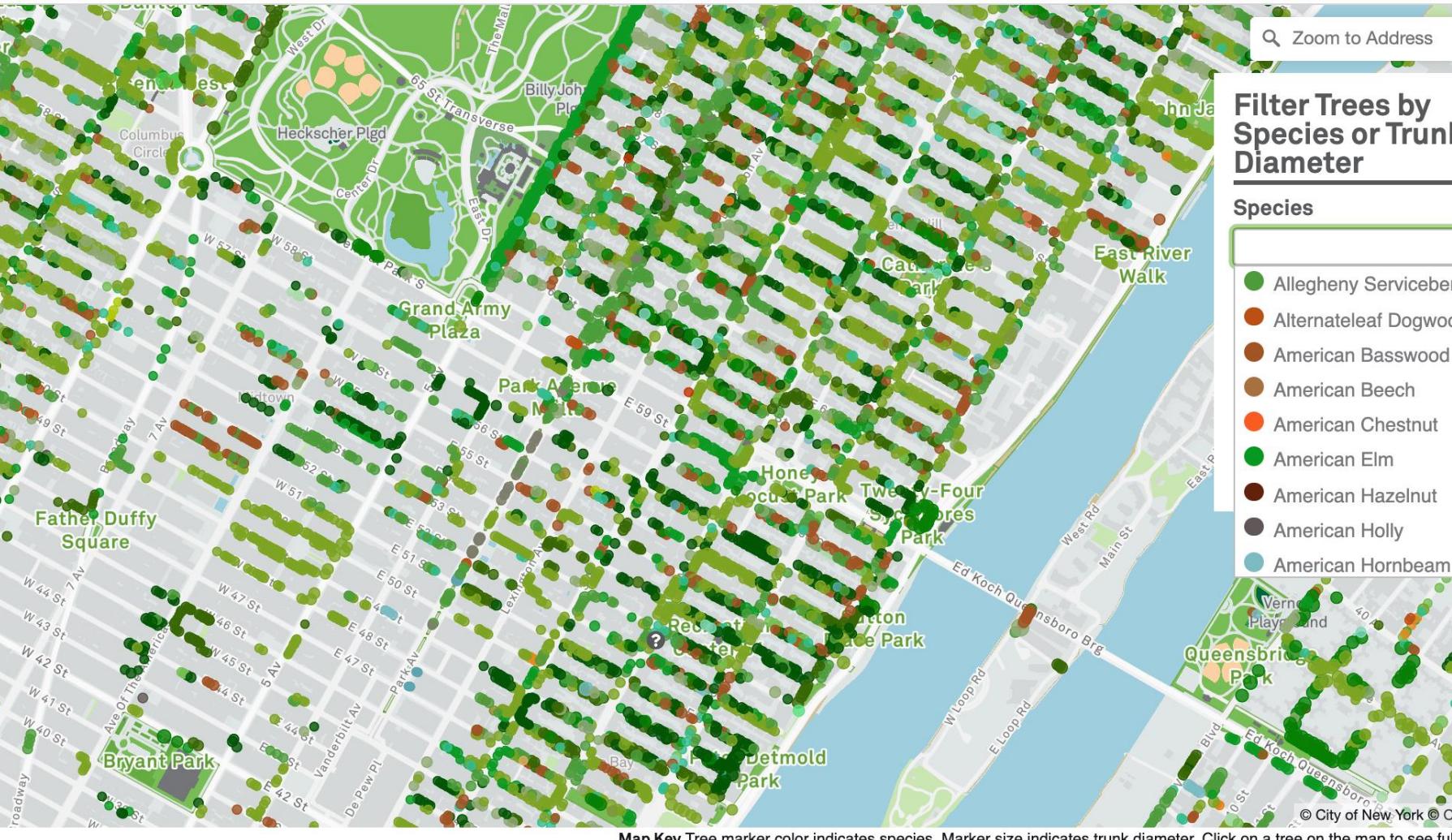
33,524
Activities Reported

8,262
Trees Favorited

234
Tree Species on Map

London Planetree
Most Common Species
83,788 trees, 12% of trees on the map

Recent Tree Care Activities



生徒パワポ

【主張】

- ・人身事故や物損事故になっていないだけで街路樹は年間5000本以上倒れているのに、樹木の定期点検や巡回をしている自治体が4割程度なのは少なすぎる。街路樹の寿命はだいたい50年ほどなのでこれからも倒木の数は増えるし、人の死傷事故も起きているのだからもっと真剣に対応してほしい。



〔現代の諸課題への投書〕
歴史総合で扱った知識・概念が、現代の諸課題と
どのようにつながっているのか、また異なっているの
か。

東京新聞掲載の生徒投書

誰もが尊重される社会へ

高校生 椿 一真 16
(東京都大田区)

東京で行われた性的少数者（LGBTQ）パレードの「誰もが自分らしく生きられる社会を」という訴えに感動しました。今なお性のあり方などで苦しむ人がいる現実を改めて考えさせられました。

米国独立革命やフランス革命は「自由」「平等」という近代社会の土台となる価値観を掲げました。しかし、米国独立宣言の「全ての人間は平等」の「人間」と思っています。

歴史総合の授業で、17～18世紀の市民革命を通じて国民が政治に参加する権利を勝ち取ってきたことを学んだ。英国の名誉革命やフランス革命は、王の絶対的な支配に対する市民の怒りから始まり、議会制民主主義などの原則を確立した。

現代の日本では、自民党による裏金問題が露呈、権力を持つもの

高校生 大塚 遼 16
(東京都大田区)

公正で透明な政治を

による不正という構造が続いている。本来、政治家は国民の代表として公正かつ透明に政治を行う必要がある。それに背く行為は民主主義そのものを傷つけるものだ。私はまだ選挙権がない。だからこそ、正しい情報を学び、自分の考えを持つことが大切だと感じる。選挙権のある大人たちには、もっと関心を持って投票に行ってもらいたい、その1票を通じて意思を示してほしい。

歴史総合で扱う概念

近代化と私たち

「工業化」「世界市場」「市民革命」「国民統合」
「国民国家」「立憲体制」「帝国主義」

大衆化と私たち

「国際協調」「大衆社会」「社会運動」「恐慌」「総力戦」

グローバル化と私たち

「冷戦下の国際政治」「世界経済の拡大」「市場経済の変容」「冷戦後の地域間連携・地域紛争」

「自由と制限」「平等と格差」「開発と保全」「統合と分化」「対立と協調」

生徒の投書(1回目)

開発と保全

学校の授業で産業革命について学びました。イギリスでは工場の発展により、栄えたが労働者の過酷な生活や公害問題があつたことを知りました。

そんな中、新聞で水俣病の記事を読み、私は産業革命の負の面が、今の時代にもつながっていることに気づきました。工場の発展は日本でも生活を豊かにした一方で、水俣では海が汚され、多くの人が病気になり、苦しみ続けていることを知って悲しくなりました。

産業や技術が進歩しても、人の命や自然をないがしろにしてはいけないということを、水俣病は教えてくれていると思います。懇談のように、国や企業が被害者の声にもっと向き合い、これから社会づくりに活かしていってほしいと思いました。私たちも、その歴史から何を学ぶかを考えたいです。

生徒の投書(2回目)

平等と格差

先日行われた東京のLGBTQパレードの様子を新聞で読み、「誰もが自分らしく生きられる社会を」という参加者たちの訴えに感動しました。今の時代でも性のあり方や恋愛の対象によって苦しんでいる人がいる現実を、改めて考えさせられました。

歴史を振り返ると、アメリカ独立革命やフランス革命は「自由」「平等」という近代社会の土台となる価値観を掲げました。しかし、当時の「平等」は白人男性を中心としたものであり、女性や有色人種のひとたちは差別されてきました。

たとえば、アメリカ独立宣言では「すべての人間は平等に造られている」と書かれていますが、その「人間」に女性や黒人奴隸は含まれていませんでした。フランス革命においても「人权宣言」は男性の権利ばかりを強調し、女性の自由や参政権は後回しにされました。

こうした過去をふまえると、現代に生きる私たちが「本当の意味での平等」について問いかることはとても大切だと思います。性別、身分、性的指向などにかかわらず、すべての人が尊重される社会こそが大切だと思います。今回のパレードも、すべての人が尊重される社会に近づくと思いました。誰かの「違い」を排除するのではなく、認め合える社会になるといいなと思いました。

今後の取り組み

メディア・情報リテラシーを育成するために…

新聞製作学習

新聞活用学習

新聞機能学習

新聞というメディアそのものがどのような社会的機能を担い、いかなる編集意図に基づいて情報を構成しているのかを理解させる学習活動をより強化して行っていきたい

今後の取り組み

メディア・情報リテラシーを育成するために…

新聞製作学習

新聞活用学習

新聞機能学習

12月実施予定のニュース・リテラシー出前授業
戦争記録画・戦争証言・大本営発表と新聞
などを複数の情報を組み合わせた授業を開
したい